

# 留学扶桑

段跃中 著

译林出版社

D944

# 留学扶桑

段跃中 著



译林出版社

留 学 扶 桑  
段跃中 著

---

出版发行 译林出版社  
地 址 南京中央路 165 号(邮政编码 210009)  
经 销 江苏省新华书店  
照 排 南京展望照排印刷有限公司  
印 刷 淮阴新华印刷厂(地址:淮海北路 44 号)

---

开本 850×1168 毫米 1/32 印张 8.625 插页 4 字数 209 千  
版次 1998 年 2 月第 1 版 1998 年 2 月第 1 次印刷  
印数 1—5000 册

---

标准书号 ISBN 7—80567—769—7/I·445  
定 价 13.00 元

---

(译林版图书凡印装错误可向承印厂调换)

责任编辑 叶宗敏



作者照片

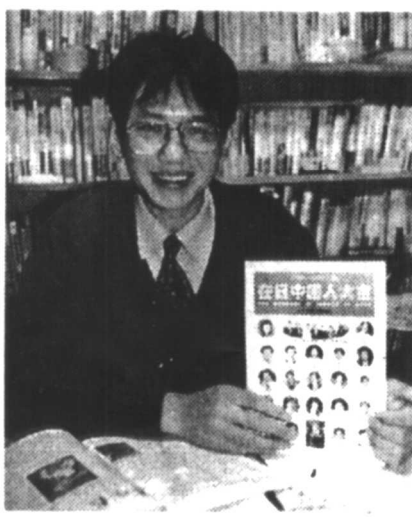


# 情報満載 在日中国人大全

日本で活躍する中国人の人物録や、中国人向けの新聞・雑誌など、在日中国人に関する情報を集めたデータブック「在日中国人大全」(B5判、98頁)がこのほど出版された。日本における中国人社会のネットワークなど、興味深いデータを網羅している。

出版したのは中国湖南省出身で、新潟大学院博士課程で中国メディアを研究している段躍中さん(38)「埼玉県川口市。段さんは北京の中国青年報の元記者。1991年8月に来日」。

## 新潟大の研究者が出版 人物録や著作など網羅



出版した本を手にする段躍中さん

93年春ごろから在日中国人の研究者リストなどの作成を始めた。これを知った研究者らから「資料を発行し、80年代以降に来日した教授、助教授、専任講師ら約

てほしい」との声が寄せられ、出版に踏み切った。


350人のリストや、在日中国人が経営する会社約110社、雑誌・新聞社・電子メディア約80社のほか、中国人が書いた日本語、中国語の著書など約500冊を網羅。また、文学賞などの受賞者や、阪神大震災で亡くなった中国人の一覧表も掲載した。

段さんは「在日中国人の活躍を広く知ってもらい、将来の中国人問題研究者に資料を残したい。多くの人に情報を寄せてもらい、さらに充実した書にしたい」と話している。定価4880円。申し込みは日本備報社(048・268・6946)。  
【鈴木 玲子】

# 留学扶桑

书名题字：中国驻日大使馆文化参赞、书法家 耿墨学

# 日本侨报

邵华泽题 

《人民日报》社长邵华泽为本书作者创办的《日本侨报》题字

## 目 录

- (1) 关于当代日本华文报刊的考察  
——以改革开放后来日中国人发行的报纸为中心  
..... (1)
- (2) 我看日本图书馆 ..... (18)

## 日本社会万花筒

- (3) 议员走红 钱包涨破 ..... (38)
- (4) 日本人婚后姓什么 ..... (40)
- (5) 岛国日本 水少火热 ..... (41)
- (6) 奇事——避孕套进校园 ..... (43)
- (7) 骚动的日本教育界·教师篇 ..... (44)
- (8) 骚动的日本教育界·学生篇 ..... (50)
- (9) 日本大犯罪·日本人篇 ..... (55)
- (10) 日本大犯罪·外国人篇 ..... (60)
- (11) 丈夫与爸爸：两难角色 ..... (65)
- (12) 恶劣警官知多少 ..... (71)
- (13) 单身赴任的悲喜剧 ..... (76)
- (14) 12万大军出岛国  
——谈谈日本人的海外留学 ..... (80)
- (15) 你想问的 我想说的  
——在日外国人现状调查与分析报告 ..... (86)



- (16) 名片就是财富 ..... (92)
- (17) 洋奸商 ..... (94)
- (18) 颤抖的阪神 ..... (96)
- (19) 在水原明窗遗像前合影 ..... (101)
- (20) 也说“外国人市民代表者会议” ..... (103)
- (21) 考场风景线 ..... (104)
- (22) 杂说“钱汤” ..... (106)
- (23) 日本安全吗 ..... (108)
- (24) 从“禁止中国人出入”说起 ..... (110)
- (25) 从理发的烦恼说起 ..... (111)
- (26) 入乡非得随俗吗 ..... (113)
- (27) 从不盖落地戳说起 ..... (115)
- (28) 减免贺年明信片 ..... (117)
- (29) 服务过剩的烦恼 ..... (118)
- (30) 给儿子取名“天皇”如何 ..... (120)
- (31) 日本人有信用吗 ..... (122)
- (32) 日本人不喜欢外国大米 ..... (124)

### 负笈东瀛写春秋

- (33) 太阳旗下的梦想与现实 ..... (126)
- (34) 新一代华侨文化 ..... (130)
- (35) 湖南同乡赏樱记 ..... (134)
- (36) 留下我们的奋斗足迹  
——为电子版《日本留学一千天》而作 ..... (136)
- (37) 早期留日中国人的骨气 ..... (138)
- (38) 历史永远尊重事实  
——1997年版《在日中国人大全》编后记 ..... (139)

- (39) 留给历史一个多彩的奋斗故事  
——《负笈东瀛写春秋——在日中国人自述》编后记  
..... (142)
- (40) 乐为访日中国人服务  
——访东京免税店光大产业株式会社社长侯明轩  
..... (151)
- (41) 替同胞作嫁衣裳,为祖国写新篇章  
——《在日中国人大全》后援会成立侧记..... (153)
- (42) 替同胞作嫁衣裳,为祖国写新篇章  
——各界人士寄语..... (158)
- (43) 他在日本开餐厅  
——一个东北青年的故事..... (161)
- (44) 用我们的热情去拥抱人生 ..... (163)
- (45) 树立海外儿女新形象 ..... (165)
- (46) 留学生,留下什么  
——采访涩谷武先生想到的..... (167)
- (47) 热心日中学术交流的架桥人  
——访新潟大学教授多贺秀敏先生..... (169)
- (48) 寄情于外国语媒体研究  
——访武藏大学教授白水繁彦先生..... (173)
- (49) 授人以鱼不如授人以渔  
——新潟大学留学生中心主任山口博教授..... (176)
- (50) 漫步冈山 ..... (178)
- (51) 爱情与文化交流的桥梁  
——记鲁大鸣、中根圭代夫妇 ..... (181)
- (52) 时代的要求 祖国的期待  
——有感于清华大学东京校友会成立..... (184)

- (53) 技术·合作·友情  
——中国研修生在日本…………… (186)
- (54) 相识在中国 理解在东瀛  
——记日本平野屋会长太刀川进之介先生…………… (189)
- (55) 他乡遇故知  
——记几位日本友人…………… (190)
- (56) 上海浦东开发协力会二三事 …………… (193)
- (57) 梦里渔歌 …………… (196)
- (58) 铅印的“家书” …………… (198)
- (59) 谈谈日中友好通信协会 …………… (200)
- (60) 记中国希望工程日本后援会 …………… (203)
- (61) 中国古典读书会 …………… (206)
- (62) 记关西在职中国人交流协会 …………… (208)
- (63) 近两年在日中国人著书立说浅谈 …………… (210)
- (64) 从“政治留学”到经济留学  
——访南开大学李喜所教授…………… (212)

#### 杂说日本人系列

- (65) 从伊藤君的“嗨嗨”谈起 …………… (214)
- (66) 女性的体型与美 …………… (216)
- (67) 道别误会与拼命精神 …………… (218)
- (68) 回家吧, 圣子…………… (219)
- (69) 无主摩托车与“少说为佳” …………… (221)
- (70) 大和抚子与现代日本女性 …………… (222)
- (71) “工蜂”与“阿信”的再认识 …………… (224)
- (72) 生财有道卖裤衩 …………… (226)
- (73) 小议日本人的透明度 …………… (227)
- (74) 人说可骗不可顶 …………… (229)

- (75) 日本年轻人价值观的变化：转职 ..... (230)
- (76) 正月里的祈求 ..... (232)
- (77) 日本人的连带关系 ..... (233)
- (78) 忍耐性与独创性 ..... (235)
- (79) 话说日本的警察 ..... (236)

### 结 尾

- (80) 百年风雨写春秋 东瀛求索到何时  
——写给中国人留日 100 年 ..... (238)
- (81) 后记 ..... (251)

### 附 录

- (1) 为留日百花园添芬芳  
——记致力中日民间友好交流的段跃中 ..... (253)
- (2) 甘做一个“拾柴人” ..... (255)
- (3) 如此而已  
——段跃中印象 ..... (259)
- (4) “中国留学生文库”在日诞生 ..... (261)
- (5) 陋室虽小 有神则灵  
——访段跃中和他的中国留学生文库 ..... (262)
- (6) 段跃中——致力于“中国留学生文库” ..... (264)
- (7) 首届在日中国人新闻出版活动成果  
展览在新潟举行 ..... (265)

## 关于当代日本华文报刊的考察

——以改革开放后来日中国人  
发行的报纸为中心

### 一、现代日本华文报刊的简单回顾

#### 1—1. 日本华文报刊的历史回顾

从 1898 年 6 月 29 日日本华文报刊的始祖《东亚报》(比《清议报》早约半年)在神户问世,日本的华文报刊历史将近 100 年。

现代中国的中国语媒介,可分为活字类型的报刊、广播类型的收音机、电视机媒介及国际互联网等电子媒介。80 年代后半期至今,在日中国人发行的华文报刊约 80 种,现在继续发行的华文报刊三十多种。在日中国人经营的中国语书店,仅东京都至少有 20 家以上。专门的中国语电视台、广播电台等播放媒体现在虽然还没有,但经营中国语录像带、中国语电话播放服务、中国语录音带等店,在东京的池袋、新大久保等中国人集中的地方已有不少。华文报刊的报道说,关东地区的中国语录像带店,至少有 30 家以上。

#### (1) 10 年间的发展与变化

首先是华文报刊的发行中心地从关西向关东转移。80 年代初期来日的中国人差不多都是国费留学生,以理科、工科为主。留学的大学集中在京都、大阪、神户等关西地方。现在已经查到的资料是,1985 年到 1988 年上半年发行的约 10 种华文报刊里,《雁鸣》、《留学生活》、《岚山》等 7 种杂志的发行中心地是京都或大阪。现在发行中的华文报刊则集中在以东京为主的关东地区。除《中日新

报》编辑部在大阪以外,其余全部分布在东京都和周围县。

## (2) “诞生、成长、旺盛”三阶段

分析这十余年的日本华文报刊的发展,可以得出“诞生、成长、旺盛”三阶段。

第一阶段(1985~1990),是华文报刊的诞生期,国费留学生的中文杂志创刊高潮,但媒介的种类、质量还处于诞生阶段。中国人就学生的急增带来比较成形的中国语报纸《留学生新闻》(1988年12月1日)创刊。以后,即从1989年下半年开始,有不少关于政治民主的杂志创刊问世。

第二阶段(1991~1995),堪称日本华文报刊发展的成长期。无论报刊的种类、质量、读者规模,都向前迈进了一步。特别是周刊报纸、双周刊报纸的相继创刊,是这个时期的标志之一。同时是中国语媒介由杂志为主时期转换为报纸发行为主阶段。比如1991年5月1日创刊的《中国留学生》报,通过中国留学生学友会这个最大民间组织向全日本的中国留学生免费发放。1992年11月创刊的《中文导报》,问世一年后发展成日本华字新闻史上中国留学生经营的第一家周刊报纸。1994年4月15日,最有影响的《留学生新闻》也由每月发行一次改为两次,使日本的华文报刊进一步得到充实。

第三阶段(1996~现在),日本华文报刊的发展进入旺盛阶段。其主要标志为,一是第一家周二刊的华文报刊《东方时报》创刊,二是出自现代留日中国人的第一家日刊华文报纸《时报》创刊。1997年2月当时,仅华文报就有日刊、周二刊、周刊各1家,双周刊4家,出现了现代中国人留日史上未曾有过的旺盛景象。

### 1—2. 华文报刊大量创刊的背景

#### (1) 中国语信息来源严重缺乏

十几万中国人一齐涌到日本,少不了生活上的不适应,文化上

的冲突与摩擦。特别是对一句日语也不会说的中国人来说，最需要的恐怕是用母语编辑的生活信息。这是华文报刊大量创利的第一要因。

移民国家美国的学者认为，移民报刊迅速发展的背景有以下几点：① 移民为了适应、理解新的环境，知道所在国家的事情，需要在那个国家生活的信息；② 移民同仁之间就共同的问题交换意见时需要有一个舆论环境，这是移民共同体存续下去的不可或缺的条件之一；③ 同一个国家来的人希望有个人信息交换场所，具有社交性质的移民报刊被认为很是重要；④ 美国的一般报刊的地域性很强，不能满足移民对自己祖国的关心。有关移民个人、移民祖国的信息，最重要的是通过母语编辑的移民报刊获得。

但是，在日本的中国人社会，面向中国人的华文报刊很少，因而形成不了良好的中国语信息环境。国际交流研究所所长大森和夫先生说：“日本社会虽然信息泛滥，但面向留学生的信息媒体非常不足。”以留学生为读者对象的《向学新闻》发行人小林正义先生指出：“留学生在日本所需的必要生活信息太缺。”

## (2) 作为一种新的实业

作为一种新的实业来办，可以说是现代日本华文报刊创刊高潮的另一背景。报纸杂志经营者们和其它企业经营者们一样，想在日本早日获得成功。《留学生新闻》的总编辑曾说：“把报纸作为企业来经营，是成功的秘诀之一。”

这种背景下创刊的华文报刊社，除了出版业务以外，还经营中国语录像带店、中国语书店、中国餐馆、日中贸易公司等。

从华文报刊的版面内容构成看，大量的商业广告，广告内容的多样性，充分反映了经营者的实业思想。有一家华文报纸，约三分之一的广告是自己经营的连锁企业的广告。还有一家文摘报，总编辑的主要任务是拉广告、办发行。



## 二、日本华文报刊的现状

### 2—1. 发行实态

经过确认,1997年2月继续发行的主要华文报刊如下。按报刊名、创刊年月、发行频度、开本或纸张尺寸型号、页数、使用语言、发行地等顺序记入。

#### ◇留学生新闻

1988年12月、双周刊、4开、32页、日中两国语言、东京

#### ◇外国学生新闻

1989年2月、月刊、4开、28页、中日英三国语言、东京

#### ◇中国留学生

1991年5月、月刊、4开、16页、中日两国语言、东京

#### ◇新交流时报

1991年7月、双周刊、4开、16页、中日两国语言、东京

#### ◇中日新报

1992年6月、月刊、对开、8页、中日两国语言、大阪

#### ◇中文导报

1992年11月、周刊、4开、36页、中国语言、东京

#### ◇半月文摘

1993年4月、隔周刊、4开、16页、中国语言、东京

#### ◇华人时报

1993年10月、月刊、4开、20页、中日两国语言、东京

#### ◇中国巨龙

1994年11月、周刊、对开、20页、日中两国语言、东京

#### ◇留学生文摘报

1995年4月、月刊、4开、4页、中国语、大阪

#### ◇东方时报

1995年5月、周二刊、4开、24页、中国语、东京

◇时报华语新闻

1995年5月、月刊、4开、40页、中国语、东京

◇华声新闻

1995年4月、对开、12页、日中两国语言、东京

◇东海国际新闻

1995年7月、4开、12页、日中两国语言、名古屋

◇时代

1996年3月、4开、16页、中国语、东京

◇山海新闻

1996年7月、4开、8页、中国语、东京

◇日本侨报

1996年8月、月刊、B5、8页、中国语、埼玉

◇时报华语新闻

1996年11月、日刊、4开、16页、中国语、东京

◇日中新闻

1996年12月、4开、16页、中国语、埼玉

◇岚山(以下为杂志)

1987年6月、月刊、A4、72页、中国语、东京

◇东瀛求索

1989年9月、年刊、A4、172页、日中两国语、东京

◇中国研究

1989年7月、月刊、B5、58页、中国语、东京

◇东京指南

1994年1月、月刊、B5、20页、中国语、东京

◇中日产业开发

1994年8月、季刊、B5、56页、中国语、大阪

◇九州华报

1996年11月、月刊、B5、36页、中国语、福岡